

福井県立三方青年の家(1/2)

三方青年の家は縄文体験 のできる宿泊研修施設です

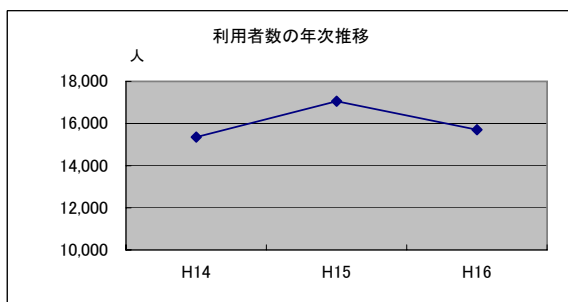
所在地	三方上中郡若狭町鳥浜122-27-1		
設置年月日	昭和38年5月1日(平成14年4月17日改築)		
施設の種類	宿泊・研修施設	施設管理主体	県
設置の目的	青少年を対象とした各種体験活動や研修会などを開催し、心身ともに健全な青少年の育成を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造3階他、延3,583.77㎡ 宿泊室(120名)、研修室(90名)、多目的ホール(500名)、キャンプ場		
職員数	職員5人		

利用状況等

	H14	H15	H16
利用者数(人)	15,353	17,056	15,709

利用者負担(利用料金)等

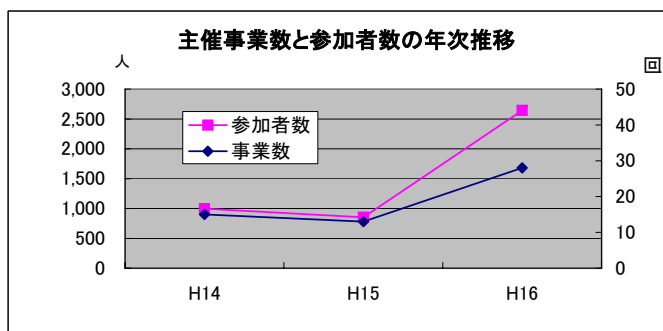
宿泊料	26歳以上	880円
	26歳未満	530円
	高校生	390円
	小・中学生	270円



利用状況 の推移	平成15年度は、イベントや講演会等で約3,100人の利用がありましたが、16年度は約700人と大幅に減少しました。
	利用者の少ない冬場の利用を促進するため、新たに地元のカルタ愛好会の協力を得てカルタ大会を実施し、約1,200人の参加を得ましたが、最終利用者数は約8%減の15,709人となりました。

16年度の特徴について

事業実績	近隣の3施設(国立若狭湾少年自然の家、県海浜自然センター、若狭町立縄文博物館)と連携して、地域の自然や歴史に関する体験学習事業を実施しました。
	ゴミ拾いなど、環境美化に配慮した「クリーンハイキング」や、国際理解を深めるためのALTとの交流事業を実施しました。
	このほか、ハゼ釣り大会、カルタ大会など児童・生徒や青少年を中心とした体験活動、ボランティア養成のための研修会や合宿通学などの主催事業を実施し、主催事業で約2,600人の参加がありました。
	また、参加者アンケートの結果では「大変良かった」73%、「良かった」24%と高い評価を得られました。



福井県立三方青年の家(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	49,855	40.3%	96.4%
	退職給与引当金繰入	▲ 1,406	-1.1%	-
	計	48,449	39.2%	97.1%
物にかかるコスト	物件費	21,503	17.4%	96.4%
	維持補修費	542	0.4%	102.3%
	減価償却費	32,723	26.5%	100.0%
	計	54,768	44.3%	98.6%
その他	公債費(利子)	20,127	16.3%	99.7%
	その他	290	0.2%	102.8%
	計	20,417	16.5%	99.7%
合計		123,634	100.0%	98.2%

(単位 千円)

収入				
	利用料等収入	2,412	2.0%	98.6%
	その他収入	193	0.2%	19.7%
	一般財源	121,029	97.9%	98.8%

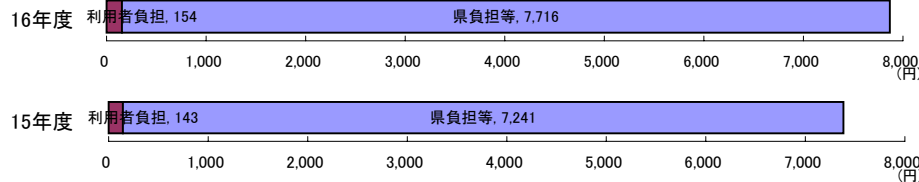
バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	1,572,509	98%	固定負債	1,375,941	94%
投資等	0	-	流動負債	88,068	509%
流動資産	0	-	正味資産	108,500	89%
計	1,572,509	98%	計	1,572,509	98%

(前年比)

利用料等収入計	2,412,000 円	99%
利用者1人あたり平均利用料	154 円	108%
利用者1人あたりコスト	7,870 円	107%

利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特色

施設の新築移転に伴い、減価償却費や公債費の割合が高くなっています。

人件費や物件費の減少で行政コストは減っていますが、利用者も減少したため、利用者一人当たりのコストは増加しています。

施設の特徴

嶺南地区における公共の青少年の宿泊施設は3施設(若狭湾少年自然の家、敦賀市少年自然の家、三方青年の家)しかなく、低料金で利用できるため、小・中学校の宿泊体験学習やスポーツ少年団、子ども会等の活動の場として幅広く利用され、児童・生徒の体験活動を促進しています。

また、高校の部活動の強化合宿や生徒会のリーダー研修会等でも年間を通じて利用されています。

三方青年の家は、バリアフリーに設計されており、嶺南地域はもとより、県内外の養護学校や障害者団体に利用されています。

中学生や高校生を中心としたボランティアリーダーの養成、育成の場として活用されています。

近くに位置する県海浜自然センター、若狭町立縄文博物館や学校などとの連携を図りながら、体験活動や研修会などを実施しています。

三方青年の家には500名を収容する多目的ホールがありますが、周辺地域には多人数が使用可能な施設が少ないこともあり、地域における講演会やイベント会場などとしても活用されています。

《三方青年の家全景》



今後の事業方針 取組み内容

年間を通じ、週末や放課後における子どもの居場所づくり事業を実施します。(H17より実施)

近隣の3施設に若狭歴史民俗資料館も加えた連携事業を実施することにより、近隣施設との連携をより深めた事業を実施します。(H17より実施)

施設が湖畔に立地し、縄文博物館に隣接しているという立地特性を活かした各種体験事業や研修などの開発に取組み、利用促進を図っていきます。